



十和田おいらせ 広報誌

地域と農業を結ぶ、ふれあいと絆の発信源“あぐれっしゅ”

Agresh

8月号
2022

No.149

Agresh

8月号
2022

No.149

JJA+十和田おいらせ



特集 急激な価格高騰に農家悲鳴

～揺らぐ食の安定生産・確保に打開策は!?～

■ 合計4千8百83戸のJA銀行 ■ JA十和田おいらせ農業協同組合
■ TEL: 034-0881 青森県十和田市西三丁目4番地4号 TEL: 0176-23-0811 FAX: 0176-24-1829
■ Email: kounyuu@jatowada.or.jp ■ Web: www.jatowada.or.jp

農家さんの料理教室

うま味の一杯

～にんじんジュース～



ニンジン+牛乳 マイルドな味わいで
ニンジン嫌いな方にもおすすめ！

作り方

- ① ニンジン2本をジューサーでしぼる
- ② グラスに注ぎ、1対1の割合で牛乳を注ぐ

ニンジン+りんご ニンジンとりんごの
甘みで味分離！

作り方

- ① ニンジン2本とリンゴ1個を
ジューサーに入れてしぼったら完成

ニンジン+みかん みかんの酸味で
すっきりとした味わい！

作り方

- ① ニンジン2本とみかん2個をジューサーに入れて
しぼいたら完成

Point

●レモン汁を少しいれると、時間がたっても黒くなりにくくなります。

ジューサーがない場合…

ニンジンをおろし金ですりおろし、しぼる!または、茹でたニンジンをミキサーにかけるとスムージーとして味わうことができます。

今月の先生



ももいし支店管内 工藤 力さん
(八戸市「Brack pepper」の元シェフ)

作付品目…

【露地】ダイコン/10㌃、ニンジン/4㌃
コボウ/2㌃
【ビニールハウス 全30㌃】
ダイコン/24棟 白カブ/6棟
ホウレンソウ/30棟(4~5回転/年)

ニンジンを作っているので、たくさん消費しようと家族みんなで毎日飲んでいます。絞りカスは子どもの離乳食やカレー、ホットケーキに混ぜると余すところはありません。旬の果物を混ぜて色々なアレンジも楽しめます。

ニンジンはたくさんの栄養素が含まれているので、毎日1杯から一緒に始めましょう！



みちのく episode 2

農紀行 わたしの歩む道

下田支店管内 松田 悅子さん 60歳
組合員 = 本人
家族構成: 高広さん(夫)、昇さん(長男)、麻奈さん(長男妻)
龍二さん(次男)、信夫さん(父)、敏子さん(母)
農業経営: ニンジン…4ha ダイコン…3.5ha

農業は私の実家から継ぎました。24歳の頃から手伝いを初めて、そのまま就農。結婚後は夫も自然の流れで農業の道へ、息子たちも初めは違う道を歩みましたが、声をかけて巻き込んでいくうちに、いつの間にかみんなで農作業をしていました。以前は父が一人で収穫機を操作していましたが、今は息子たちが2台で作業してくれるので仕事ははかかるし、力作業も率先してやってくれるで頼もしい存在です。

胸中
6月27日からニンジンの収穫作業が始まりました。早朝から収穫機2台で掘り取りし、午前は洗浄・選果、午後はまた掘り取りと忙しい時期が来たなという思いです。今年は干ばつなどの影響があつてか、又割れなどが多めで収量は少し減りそうですが、味には自信あり!たくさん食べてほしいですね。例年であればダイコンのは種も始めている時期ですが、天気が悪くタイミングが合わないので、ニンジンの収穫が落ち着いてしまうので、天候に左右されるので、良品質に仕上がることを願います。

つなぐ農業ひろげる農業 ～一家で育てる未来～

家族経営の良いところは、気を遣わず仕事が出来ること。農業の良いところは、自分たちのペースでやりたいことに挑戦できることだと感じます。両親のよつに年を重ねても健 康で、息子たちと一緒に長く農業をやっていきたいです。私たち家族の新しい農業のカタチを探りながら、経営をより安定させ、少しずつ面積の拡大につなげていけたら良いなと思っています。

未来
私は「もっと快適に作業を出来る環境」を探っています。例えば、野菜は天気の影響を受けるので、毎年生長の仕方が違ってきます。ニンジンは5種類ほど植え付けて、どの品種が天候や管理作業に適しているのかを見極めています。また、息子たちと他の生産者の畑や作業場を見せてもらつて、良いところをまねて、作業や環境の改善もしています。新しいものを導入するためにはお金がかかるけれど、体への負担を軽減できるし作業効率もあがるメリットはあると思います。



ダイコンの共選機械を洗浄中!
(下田やさいセンター)



大きくてきれいな花に感激!!(「かだあ~れ」で)



おれの背中についてこい!!ブランド野菜、守るぞ!!
(ネギの現地講習会で)



人と変わらぬ親子愛♥
(三本木事業所管内)



管内の笑顔を収穫

畠でみつけ

面白いカタチの野菜や、仲間との農作業など、思い出の1枚をお寄せください!!

- ①お名前(ペンネーム可)
 - ②写真のタイトル
 - ③撮影時の様子
 - ④撮影場所
- 上記と合わせてメールでお送りください

E-mail kikaku@jatowada-o.or.jp

大募集!!



暑い日の「かだあ~れ」ソフトは絶品!!(三本木農業恵拓高校生)



廃作で見る機会が減った
葉タバコの乾燥(上北支店管内)

目次 - 葉月	2
楽しむ 管内の笑顔を収穫	2
煙でみつけ	2
シリーズ みちのく農紀行	2
わたくしの歩む道	2
松田悦子さん(下田支店管内)	3
特集 急激な物価高騰に	3
農家悲鳴	3
～揺らぐ食の安定生産・確保に	3
打開策は?	3
ニュース Photo News	2
活動紹介	2
DOK DOK!イキイキ活動	2
お知らせ やさい販売要請報告	2
お知らせ かだあ~れ情報	2
お知らせ パワーアップ・アクション	2
報告(令和4年4月~6月)	2
楽しい かだあ~れ推し弁	2
楽しむ わたくしの広場	2
情報掲示板	2
特集 急激な物価高騰に	2
農家悲鳴	2
～揺らぐ食の安定生産・確保に	2
打開策は?	2
料 理 農家さんの料理教室	2
ニユース	2
色鮮やか! にんじんニュース	2
【工藤力さん】	2
16 15 14 12 11 10 10 7 4	2

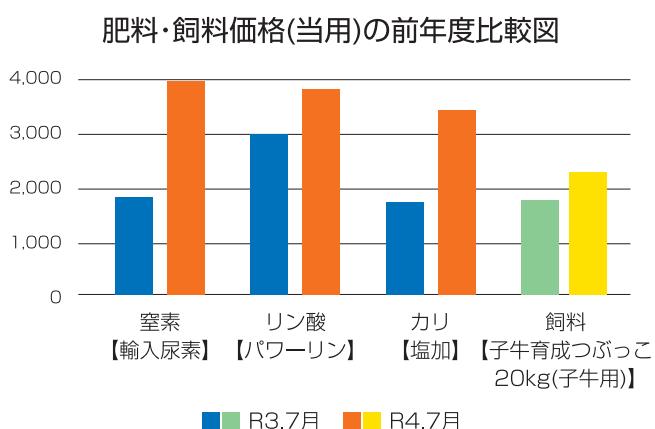
Agresh 8月号
No.149

公式ホームページ



物価上昇が農家に及ぼす影響

生産資材の価格高騰は、野菜の生長や開花、実り、根の張りを促進する肥料の三要素「窒素」「リン酸」「カリ」のほか、家畜の成長を左右する飼料に大きな影響を与えており、生産に欠かすことができないこれらは、ほぼ全て輸入に頼っているため、世界情勢が不安定な今、重大な危機に直面しています。生産現場では、使用料の抑制や代替品への変更など最大の努力をしていますが、値上がり幅が大きく、追いついていないのが現状です。



現場のリアルボイス

畜産振興会 会長
斗沢 清さん
経営規模：
繁殖牛：20頭
子牛：11頭

少しでも多く 国産のお肉を選んでほしい

今まで価格低下や病気によるショックなどの苦難はありました、今回は特に深刻です。コロナ禍で牛肉の価格が上がらない中、生産に必要なすべてのものが値上がりしているからです。

肥育農家が牛1頭を販売するために与える飼料は大体5～6トン。以前は1トン約5～6万円でしたが、今は倍の10万円以上。牛は生き物であるし、購入してもらえる牛づくりに飼料は重要で減らすわけにはいきません。飼料だけではなく、牛舎の湿度管理をするための装置や子どもを増やすための卵子採種、体外受精なども値上がりしています。しかし、牛肉の価格は一向に上がらない。

畜産農家は自給飼料の増大や代替品などでコスト低減を図り、粘るしかありません。少しでも多く国産のお肉を購入し、生産農家を応援してくれることを切に願います。



主食を守るために 今が頑張りどころ

昨年、米価の下げ幅が過去最大となり、追い打ちをかけるかのように生産資材や燃油の価格が高騰し頭を抱えています。米を作るだけでも数種類の機械が必要で、一つの機械は長くもっても10年くらいで更新しなければなりません。その間にも、動かすための燃料や部品の交換などありますが、どれも先延ばしにするわけにはいきません。

このまま米価が上がらず、物価高騰が続くようであれば、経営を続けていくことは非常に困難で、農業者はますます減り、農業は衰退していきます。

現場では先が見通せず、何か少しでも還元してもらえる働きかけを必要としています。若者に農業の魅力を感じてもらい、日本の主食を守っていくためには今が頑張りどころ。お米を「多くの人に購入してもらう働きかけ」「一口でも多く食べる心がけ」で、この難局をみんなで乗り越えていきたいです。

急激な価格高騰に農家悲鳴

揺らぐ食の安定生産・確保に打開策は!?



不安定な世界情勢や新型コロナウイルス、円安の影響を受けて、暮らしに必要な食材や生活用品が次々と値上がりしています。食料の生産現場でも、肥料や飼料、農業資材の価格が急上昇。ガソリンや軽油などの燃油高も相次ぎ、生産現場は経営の危機に立たされています。

今回の特集では、物価高騰の背景や生産現場の現状、JAや消費者一人ひとりが取り組むべきことなどを紹介します。これからの食生活を守っていくために、みんなで向き合い考えてみましょう。

今さら聞けない！物価高騰の背景

- ・コロナウイルスワクチン拡充で経済が回復
- ・世界的な人口増大で需要が増加
- ・天候不良や不安定な世界情勢による生産量の減少
- ・先進国による大量買い付け、自国産肥料原料の輸出抑制

米国が利上げを進める一方で、日銀は金融緩和を続けている。日米の金利差が開き、金利が高く運用益が見込めるドルを買い、円を売る動きが出た。



原油高

電気料金、ガソリン、石油、プラスチックなど。またそれらを原料とする製品や輸送料など



原材料高

小麦、大豆、トウモロコシ、植物樹脂、アルミなど。それらを使用する食料や印刷関連費など



円安

すべての輸入品

あらゆる物価が高騰

注目!食卓を守る「食料安全保障」

さまざまな要因が食料供給に影響をおよぼしており、食料の安定供給に対する不安から「食料安全保障」に注目が集まっています。「食料安全保障」とは、人間が生命の維持に必要な食料を、必要な時に安定的に入手できる権利のことです。不測の事態に備え、日ごろからそうした要因の影響を分析、評価、整備を進めておくことなどが重要になります。このような取り組みから、総合的な「食料安全保障」の確立を図っていく必要があります。



Photo News

地域の話題を紹介します

7/11
11 ふるさと農業祭り

J A ×三本木農業恵拓高校 連携活動



▲「プレミアムにんにくパウダー」を使ったナガイモを試食する生徒



▲新採用職員と意見交換をする生徒ら

意見交換では入組2年目の経済部購買課の千田陸翔さんが「組合員からの感謝や先輩職員からの労いの言葉がモチベーションにつながっている。常にチャレンジ精神を忘れず、がんばってほしい」とエールを送りました。

参加した生徒らは「地域農業にJAが密接に関わっていることが知れた」「自分が働く様子がイメージできた。将来の選択肢として考えたい」と話していました。

7/8
9 ふるさと農業祭り

夏秋トマトおまたせ！



▲トマトの出荷規格を確認する瀬川部会長(左)と生産農家ら

7/15
12 ふるさと農業祭り

県産キュウリ高値傾向



▲キュウリの出荷規格を確認する生産農家ら

十和田やさいセンターでキュウリの出荷目ぞろえ会を開き、生産者ら20人が品質や選別基準を確かめました。

6月半ばの猛烈な暑さと長雨の影響で他産地の収量が少なく、県産の需要が高まり例年に比べて高値傾向にあります。紺野薫やさい販売課長は「今後は気温が高くなり病害虫も増えてくる。管理の徹底と適期収穫で良品質出荷につなげほしい」と話しています。

収穫は7月上旬から始まり、10月末まで続きます。

持続可能な農業に向けたJAの取り組み(一部)

耕畜連携による堆肥の活用で 自給肥料を確保

当JAでは堆肥分析診断も実施しています。安全かつ有効に堆肥を活用するため、この機会に堆肥分析をお勧めします。表1は堆肥分析の実績からの平均値を示したものです。特に今回高騰している加里、りん酸肥料分を補給できます。

表1)堆肥の種類と成分(管内堆肥分析の平均)

堆肥の種類	EC	石灰(%)	苦土(%)	加里(%)	りん酸(%)	C/N比
※牛糞堆肥	1.2	1.0	5.8	1.0	1.5	12.6
豚糞堆肥	3.1	2.2	1.1	1.2	3.6	10.2
鶏(採卵)	7.2	1.8	1.3	1.2	2.0	7.3

表2)別表の牛糞堆肥3トン(10a当たり)を投入した場合の化成肥料換算表

	成分kg	肥料銘柄による換算量	価 格
石灰	6kg	苦土石灰	30kg
苦土	3kg	ハイ苦土40	8kg
加里	27kg	硫酸加里	54kg
りん酸	27kg	パワーリン	90kg
		計	31,674

※牛糞堆肥は「土づくり系堆肥」、豚糞、鶏糞堆肥は「肥料系堆肥」に区分されます。成分は体積期間や副資材によって異なります。C/N比が20以上の堆肥は未熟堆肥ですので施用する場合は十分注意してください。

詳しくは営農指導員にご相談ください。

牛糞堆肥10a当たり3トン施用した場合、化成肥料で約31,000円分相当の肥料代になります。堆肥の価格と相殺してもメリットはあります。ただし、専用に散布する機械が必要となります。

資料:指導やさい部指導課



地域内で循環 バイオガス発電で原油高対策に

JA管内に3カ所ある野菜センターで、出荷調整時に生じるニンジンやナガイモ、ゴボウなどの残さを発電施設「バイオガスエネルギーとわだ」に搬入し、バイオガス発電に活用しています。

発電のためメタン発酵させた後に発生する液体を今後、液体肥料として活用するため、散布や土壤分析をするなどの試験をしています。実用化されれば、生産コスト低減のほか、地域の循環型農業を目指すことができます。



土壤診断で無駄な肥料削減

農業技術センターで、組合員を対象にした土壤診断を実施しています。土の栄養バランスを整えることで、作物本来の力を發揮して抵抗力が増し、農薬の使用回数を減らすことが出来ます。



当JAでは、年間約3,600点の土を診断。分析結果は「土づくりの処方箋」として、農家に提示し、営農指導員が土壤改良などをアドバイスしています。適正な施肥設計で肥料のコスト低減をするほか、作物が生き生きと育つことで高品質、多収生産にもつなげています。

食の安定生産・確保には消費者の理解が必要不可欠！

ここまで分かるように、根本的な物価高の要因は輸入依存です。海外リスクの影響で止まらない値上げには、国産品の供給を増やす「食料自給率」を向上していくことが解決策の一つとなります。

さまざまな物価が高騰するなか、価格の低い輸入品に頼りがちになりますが、それが生産基盤の弱体化につながります。生産側が生産資材の高騰分を農畜産物へ価格転嫁し、安心して再生産、食料安全保障につなげていくためには、消費者の理解と行動が必要不可欠です。

積極的に国産品を選び、世界情勢に左右されない強固な食の安定生産・確保づくりを支援ていきましょう！